

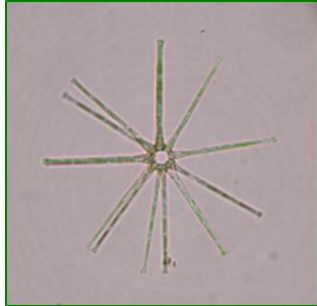
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第47報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
令和4年2月21日

1. 最も数が多かった種類(優占種)

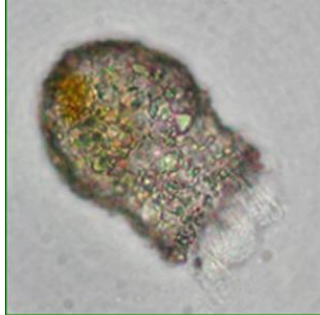
植物プランクトン第1優占種



Asterionella formosa
(ホシガタケイソウ)
珪藻綱

4～32個の細胞が端で接着し、星形の群体を作る。
細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)
両端が丸くなった長い棒形をしており、接着している
末端の膨らみの方が大きい。琵琶湖では以前から
多く見られる種類である。

動物プランクトン第1優占種



Codonella cratera
(スナカラムシ)
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色
は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。
殻の中に無色透明の繊毛虫が入っている。

コメント

植物プランクトンは珪藻に属するホシガタケイソウ (*Asterionella formosa*) が優占種となった。体積で見ると、黄色鞭毛藻に属するディノブリオン ババリウム (*Dinobryon bavaricum*) が優占種となった。網別の体積では、珪藻綱が総体積の約52%、黄色鞭毛藻綱が約37%を占めた。動物プランクトンは繊毛虫類に属するスナカラムシ (*Codonella cratera*) が340個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは今週も少なく2,900細胞/mLとなり、輝橙色のものが57%、深赤色のものが43%であった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/L)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	340

第 2 優 占 種		個体数 (個体/L)
繊毛虫類	<i>Tintinnidium</i> sp.(大)	160

* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係

(2) 植物プランクトン

令和4年2月21日

第47報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	数		体積
		数	体積	
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	160			◎
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20			
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	4			
(珪) <i>Aulacoseira ambigua</i>	160			
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	80			
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	80			
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	400	◎		
(珪) <i>Asterionella gracillima</i>	280	○		
(珪) <i>Synedra ulna</i>	1			
(珪) <i>Synedra acus</i>	60			○
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	20			
(珪) <i>Gyrosigma acuminatum</i>	1			
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40			
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	20			
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	60			
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	80			
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	180	12.3	36.8	
(珪) 珪藻綱	1126	76.8	51.7	
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.4	2.1	
(褐) 褐色鞭毛藻綱	140	9.5	9.4	
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0	
(緑) 緑藻綱	0	0.0	0.0	
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0	
総 細 胞 数	1466	総体積 (μm^3)	1.24E+06	
種 類 数	16			

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)
ただし * 印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) ★: 異臭味原因プランクトン
- 注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	2,900

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 μm (1 μm は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。